施設見学や授業体験

秋田職能短大 オープンキャンパス

大館市の秋田職業能力開発短期大学校（後藤康孝校長）で16日、オープンキャンパスが行われた。県内外から高校生や保護者ら約30人が参加。校内見学や体験授業などを通じて、学生生活のイメージを膨らませた。

学校の特色や取り組みに理解を深めてもらおうと、毎年4～5回計画。今年2回目の実施となった。

参加者は学校概要について説明を受けた後、2班に分かれて生産機械技術、電子情報技術、住居環境の3学科の施設を順に見学。生産機械技術科では教員から、「機械に関して勉強を行う学科。3Dプリンターも使える。作りたい物を作って」と魅力を紹介された。

住居環境科では「建物を設計し、安全性を確かめ、実際に作る実習を行う」と教えられた。コンクリートや木材の圧縮試験、鉄筋の引張試験を行う機械も見せてもらった。

高校生たちは興味深そうな様子で説明に聞き入り、専門的な学習環境に期待していた。この日は学食や授業を体験したほか、学生寮の見学も行った。

オープンキャンパスは8、9月にも行う。問い合わせは同校（☎0186・42・5600）。

教員から説明を受ける参加者（秋田職能短大）